

全国一般愛知地方

単一労働協議会年度総会開催!

＝発行＝
 全労連・全国一般労働組合愛知地方本部＝煤本國治
 住所：名古屋市中区沢下町9-3
 労働会館本館405



12月3日定期大会が労働会館第4会議室にて開催され、大会役員11名代議員10名全員参加で2024年度活動及び決算報告と2025年度方針が全会一致で確認されました。

大会は、医労連西尾副議長より開会の挨拶がされ、

単一の4単産から労働組合の活動報告が行われ、地域や他団体との交流報告では、沢下町一丁目協議会の沢下神社の祭礼、防災訓練などに参加と施設の提供を行うなど、地域と結びつき災害時には会館が地域で果たすべき役割が明確になってきている。また戦争法に反対する集会やデモに宣伝カーを出しての協力も行ってきたと報告がされました。

閉会の挨拶では、方針の第一に未組織の組織化があげられている。組織拡大が急務である。そのことは会館の存続にも直結している。拡大に向けた運動と、それを支える会館の役割を大い

に果たそうと訴えて終了しました。

(記 執行部)

12月14日～15日

2025春闘討論集会に参加

勝ち取る! 大幅賃上げと組織拡大 つかみ取る! 最低賃金全国一律1,500円

「25春闘 勝ち取る! 大幅賃上げと組織拡大 つかみ取る! 最低賃金全国一律1,500円」の必要性、
 「原爆ドームは残されたものではなく、残った建物である」ことを知ってほ

春闘討論集会(第37回拡大中央委員会)がクロスウェーブ舟橋で開催され、愛知からは中央委員として煤本が参加をしました。

愛知からの報告としてアクリル争議が東京都労働委員会での最大の山場となる証人尋問が、この開かれる為、多くの傍聴者で審問室を埋め尽くし、不当な命令を出させない闘いに協力し



てほしいと訴え。東京地本からの争議報告では、会社解散における裁判所の判断が不当な解雇有効の判決が出されているとし、この裁判所の右傾化を食い止める正していく運動を進めなければならぬと訴えられました。

また、被団協のノーベル平和賞受賞に対して大阪府本部から紙芝居が披露され、広島地本から当事者ではないが若者に語っていくことの必要性、「原爆ドームは残されたものではなく、残った建物である」ことを知ってほ

しいとの発言もあり、労働組合は平和の問題も方針として大事に掲げていくことが確認されました。

閉会は東中委員長の団結ガンパローで春闘討論集会は無事終了しました。

(記 執行委員長)

＝変更連絡＝

1月10日(金)の旗開きの開催会場は労働会館東館の5階テラスになりましたのでよろしくお祈いします。

今後の予定

- 1月10日(金) 地本旗開き
- 1月20日(月) 第1回評議委員会
- 1月25日(土) ナトコ労組会議。あつた支部会議
- 2月6日(木) 日本アクリル支部都労委証人尋問

編集後記

今年には能登半島大地震が元旦にあり、また世界の政治情勢は大きく流動化しました。来年はいい記事がたくさん掲載できますように!(U)